

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	教育委員会 文化スポーツ課	関連部課名	
基本目標	こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】			
施策名	スポーツ			
年齢や体力に合わせて各世代が気軽にスポーツを楽しめるように、ニュースポーツを含む多様な生涯スポーツの普及や競技スポーツの推進、指導者の育成、スポーツ・レクリエーション施設の充実などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●年齢・体力に合わせて、各世代がスポーツを楽しんでいます。 ●スポーツを通じて交流が深まり、元気な声援が響きあっています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 生涯スポーツの推進

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
ニュースポーツ普及事業(講座・教室)	7回 544人	6回 581人	10回 600人
ニュースポーツ大会(年2回)	105人	119人	150人
三河湾健康マラソン大会	3,418人	3,215人	4,000人
高齢者春季スポーツ大会	279人	261人	300人
高齢者秋季スポーツ大会	287人	279人	300人
学校体育施設開放利用者数	108,414人	101,656人	110,000人
軽スポーツの日施設利用者数	体育センター 2,377人 文化広場 627人	体育センター 3,411人 文化広場 514人	体育センター 3,500人 文化広場 700人
	合計 3,004人	合計 3,925人	合計 4,200人
市制60周年記念大会	夏季巡回ラジオ体操 みんなの体操会	—	2,050人
	はつらつママさん バレーボールin蒲郡	—	1,691人
	蒲郡ツーデーウォーク	—	813人

2 競技スポーツの推進

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
スポーツ少年団大会参加者	465人	497人	500人
市民総合体育大会参加者	7,071人	6,966人	7,200人
ウエスタンリーグ公式戦観客数	3,500人	4,050人	4,200人
縣市町村対抗駅伝競走大会	21位	15位	10位
全国大会等出場者激励金	93件	67件	100件

3 指導者の育成

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
ラジオ体操指導者講習会・普及講習会	702人	693人	750人
スポーツ推進委員会・研修会	10回	12回	12回
スポーツ少年団指導者	137人	136人	140人

4 スポーツ・レクリエーション施設の充実

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
学校体育施設開放数	小学13校 中学6校 高校2校	小学13校 中学6校 高校2校	小学13校 中学6校 高校2校
市民体育センター利用状況	164,449人	186,429人	170,000人
野外運動施設利用状況	167,201人	177,876人	180,000人
文化広場利用状況	23,992人	25,287人	26,000人
体育施設修繕及び工事	(工事) ・蒲郡文化広場体育館屋根防水工事 ・明柄グラウンドトイレ撤去工事 ・南明柄グラウンド便所改修工事 ・浜町野球場電気設備改修工事 ・公園グラウンド野球場放送設備改修工事 ・公園グラウンド野球場観客席ベンチ改修工事 (修繕) ・浜町テニスコート人工芝修繕 ・三谷グラウンド南フェンス修繕 ・南明柄グラウンドフェンス修繕 ・旧市民プール窓ガラス修繕 ・公園グラウンド野球場ネットフェンス修繕	(工事) ・三谷グラウンド受変電設備等改修工事 ・公園グラウンド野球場内給水管布設工事 ・公園グラウンド管理棟事務室天井改修工事 (修繕) ・海陽多目的広場管理倉庫ドア取替修繕 ・塩津小バスケットゴール修繕 ・浜町仮設ソフトボール場防球ネット張替補修修繕 ・体育センター競技場フローリング修繕 ・蒲郡市公園グラウンド非常放送設備修繕 ・浜町テニスコート人工芝部分張替修繕 ・蒲郡球場防護マット応急修理工事 ・三谷グラウンドナイター照明設備修繕	(工事) ・市民体育センター第一号道場矢落しネット設置工事 ・中部運動広場フェンス撤去工事費 ・小規模工事 (修繕) ・市民体育センター武道館排煙窓修繕 ・緊急修繕 ・維持管理修繕
	事業費 23,452千円	事業費 16,700千円	事業費 23,100千円
さがらの森維持管理費	(修繕) ・出入り口ゲート修繕 ・放流ポンプ取替修繕	(修繕) ・送風機取替修繕	(修繕)
	全体事業費 2,387千円	全体事業費 2,642千円	全体事業費 2,515千円

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
高齢者スポーツ大会参加率	目標値	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%
	実績値	2.7%	2.7%		平成32年度
市民総合体育大会参加率	目標値	8.8%	8.8%	9.0%	10.0%
	実績値	9.4%	8.9%		平成32年度
ラジオ体操指導者講習会・普及講習会参加目標数に対する達成率	目標値	100%	100%	100%	800人
	実績値	87.8%	86.7%		平成32年度
体育施設利用率	目標値	5.3回	5.4回	5.5回	6.0回
	実績値	5.7回	6.0回		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
高齢者スポーツ大会参加率	高齢者スポーツ大会参加者数／蒲郡市高齢者人口(65歳以上) 高齢者のスポーツ参加率を測る。
市民総合体育大会参加率	市民総合体育大会参加者数／蒲郡市人口(小学生以上) 蒲郡市民の関心度を測る。
ラジオ体操指導者講習会・普及講習会参加目標数に対する達成率	ラジオ体操指導者講習会・普及講習会参加目標数に対する達成率。ラジオ体操の普及意欲を測る。
体育施設利用率	体育センター利用者数+野外運動施設利用者数+文化広場利用者数+学校体育施設開放利用者数+軽スポーツの日施設利用者数／蒲郡市人口 市民のスポーツ参加率を測る。

◆指標の分析

<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者スポーツ大会参加率」－参加率としては2.7%で前年度と同じ数値である。 ・「市民総合体育大会参加率」－平成26年度の参加者数は、ヨット競技、ハイキングの中止により前年度よりも減少しているが、種目別参加者数では前年度とほぼ横ばいである。 ・「ラジオ体操指導者講習会・普及講習会参加目標数に対する達成率」－健康維持効果が改めて注目されているラジオ体操について、市民の関心度を高めることを目的として講習会への参加を促進するための指標であるが、実績としてはほぼ横ばいとなっている。 ・「体育施設利用率」－体育施設の利用については、人口換算で1人当たり将来目標数値の年間約6回利用している。
--

◆今後の方針

施策の課題	<p>・「生涯スポーツの推進」－三河湾健康マラソン大会は、雨天のため参加者数が減少した。学校体育施設開放利用者が減少しているが、学校体育館の耐震工事等により利用制限があったためである。また、軽スポーツの日施設利用で体育センターの利用者数が増加しているが、平成25年度までは確定申告期間の混乱を避けるため利用を制限していたためである。利用者の要望により利用を決定したが、要望・状況に応じた対応が必要である。</p> <p>・「競技スポーツの推進」－新しいスポーツの普及・振興を進め、毎年実施している大会でも参加者数を増加するために新しい仕掛けが望まれる。</p> <p>・「指導者の育成」－スポーツ推進委員は研修会等を通じて各地区におけるスポーツ振興を図っている。スポーツ推進委員が主導で実施する出前講座の機会を増やし、指導者育成に努める必要がある。また、ラジオ体操の若年層への普及が望まれる。</p> <p>・「スポーツ・レクリエーション施設の充実」－建物・施設の老朽化により修繕必要箇所は増加傾向にあり、今の施設を維持していくことが重要である。</p>
-------	---

今後の施策展開	<p>・「生涯スポーツの推進」－(短期的・長期的)今後も継続して各スポーツ大会に、より多く参加してもらおう、広報、安心ひろメール等で募集をしていく。また、市民ニーズに応えた教室や大会の開催や総合型地域スポーツクラブとの連携を深め、市民の健康増進を推進していく。</p> <p>・「競技スポーツの推進」－(短期的・長期的)開催している事業は継続して開催する。その他に全国大会等を積極的に誘致し、施設利用者の増加と併せて観光振興を図っていく。</p> <p>・「指導者の育成」－(短期的・長期的)スポーツ推進委員の育成を通じて地域との連絡調整、連携の強化を図り事業の充実と拡大を図っていく。また、ラジオ体操の講習会を通して各世代・各地域の市民にラジオ体操を普及していく。さらに、子ども会等に呼びかけ、夏休みを利用して若年層のラジオ体操の普及を図っていく。</p> <p>・「スポーツ・レクリエーション施設の充実」－(短期的)体育施設は老朽化が進んでいるが、限られた予算の範囲内で修繕し維持管理していく。平成26年度に体育センター競技場を建替える方針が決定した。今後、平成31年度の完成を目指し事業展開していく。(長期的)屋外施設は、老朽化のため改修していく必要があり、市全体の蒲郡市公共施設見直し検討委員会で検討していく。</p>
---------	---

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	ほとんどの体育施設は老朽化しており、利用者にとって快適に利用できる環境が整っていない。永年の懸案であったスポーツ振興の拠点である体育センター競技場の建て替えが決定した。平成31年度の完成を目指し適正な事務処理を進めていく必要がある。しかし、それ以外の施設整備については明確な計画がないため早期に整備計画を構築することが必要である。 スポーツの推進に関しては、現在開催している事業の他に市民のニーズに応えた教室や大会を構築し、併せて宿泊客増加につながるスポーツイベントを開催し、観光振興も視野に入れた事業の展開を目指したい。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	生涯スポーツの普及、競技スポーツの推進などスポーツ振興への取り組みについては、各種大会開催及び参加実績からも、一定の成果が得られている。競技施設・設備については、ほとんどの施設が老朽化しており、早急に対応すべきものである。その中でも体育館については平成31年度を目標に建設を予定し既に検討を行っているが、財源は限られているため、新体育館も含めて、公共施設全体の整備との調整を図りつつ適正かつ効果的な整備を行なうとともに、整備計画の策定をしなければならない。